


2014年7月23日

国内建築用ガラス関連製品の価格を改定

 旭硝子株式会社


AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、国内の建築用ガラス関連製品の販売価格を、9月1日納品分より引き上げることとしました。引き上げ率は、板ガラスが15～20%、ミラーが10～15%、建築用加工ガラス製品が10～20%の予定です。

国内の建築用ガラス関連製品においては、継続的な原燃材料の市況価格の高騰および2013年より急激に進んだ円安の影響で製造コストが大幅に上昇しています。さらに、昨今の人手不足による人件費や物流費の上昇により、採算は悪化しています。

このような環境の下、生産性の向上や事業のスリム化・効率化によるコストダウン施策を行ってまいりました。しかしながら、中東の政情不安による原油市況価格のさらなる高騰により、企業努力だけではコストアップを吸収することが大変難しい状況であるため、板ガラス本体価格並びに建築用加工ガラスの価格改定を実施することとしました。

今後も継続的なコストダウン施策を推進し、国内建築用ガラス事業の収益改善を目指します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先： 旭硝子(株)広報・IR室長 小林 純一
(担当：高橋 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)